

横田公民館だより

令和6年度

発行 横田公民館

発行日 令和 7年 3月31日

編集 教養部

横田と私

横田第七町会長

私は松本市の生まれ（当時は東筑摩郡島内村）ですが、父が転勤していたので市内の学校に通う機会はありませんでした。小学生の頃東京から実家の島内に帰省し、美ヶ原登山や美鈴湖のスケートに行きました。もちろん横田のことは知りませんでした。高校生の頃は須坂在住で長野に通学しました。サッカー班に所属し、3年生の時は全国高校総体の北信地区代表として松本開催の長野県大会に出場しました。初日に2試合（当時は30分ハーフ制）と延長を戦い、市内の旅館に1泊しました。おぼろげな記憶によれば、そこは新浅間温泉（現横田温泉）であったと思います。ちなみに翌日の準決勝では惨敗し、涙を飲んで長野に帰りました。横田の地名を初めて認識したのは結婚の時でした。義父は退職の前に親戚のついでで横田に現在の家を構え、その10年後に家内と私は結婚しました。結納の日に初めて家内の家（今の住まい）を訪問しました。結婚11年後、義母の介護のために家族を横田に置いて、単身赴任生活に入りました。横田に転居してすぐに息子が横田ボーイズに入団しました。当時お手伝いできる父兄が限られていたので、関西からほぼ毎週帰省して土日のクラブ活動を手伝いました。金曜深夜に帰宅し、土日は野球、日曜夜行で出勤するような生活が続きましたが、実に楽しい日々でした。家内は頼まれるままに町会の役員を引き受けていましたが、私が退職して横田に戻った時には町会役員を引き受けて欲しいと言われていたようです。単身生活15年後、横田に永住してすぐに町会の会計を依頼されました。その後は会計、公民館長、町会長を連続して務め、少しでも横田のためになることができればと思っています。ここまで私の駄文にお付き合いいただき、ありがとうございました。

変化してきた公民館長の仕事 横田公民館長

横田公民館は平成16（2004）年4月より使用されもう20年余が経過しました。旧公民館は狭い借地に木造2階建・敷地一杯で車も留められません。現在の各町会と公民館倉庫の場所でしょうか。その他の用地は地権者等のご協力もあり、住民の寄付や行政の補助金等多くのご協力で購入しました。そんな状況でしたので新公民館の活動に皆さんの期待も大きく活動の充実に努めました。又、国の助成事業に応募して「プロジェクター・AED・カラオケ装置・パソコン」等を配備出来ました。大きな問題も無く令和2年頃に講堂の雨漏り



発見、2年間程で完全修理出来ました。近年猛暑の連続でエアコンが大活躍、20年故障無しですがもう部品が無く機器を全て更新するのみです。多額のため市の補助適応には時間が必要です、建物も同様です。公民館施設の維持管理業務が多くなり館長の仕事も変化して来ています。

南郷こどもプラザは、平成20年4月に南郷保育園・福祉ひろば・こどもプラザを併設した本郷地区福祉総合施設として開設されました。こどもプラザは市内に5カ所（筑摩・小宮・南郷・波田・芳川）あり、妊娠中の方から就学前の乳幼児と保護者が自由に利用できる子育て支援施設です。



南郷こどもプラザってどんなところ？

- ・明るく開放感のある室内には、滑り台やままごとコーナー、絵本コーナーがあり、手作りおもちゃも豊富です。庭には、遊具や砂場もあり、外遊びが楽しめます。
 - ・親子一緒に参加できるお話会やコンサートなどの行事、託児付きの講座など、様々なイベントを開催しています。
 - ・行事日を除く毎日午前と午後に『お楽しみタイム』を行っています。絵本の読み聞かせや手遊び、ふれあい遊び、体操などを親子で楽しんでいます。
 - ・隣接している南郷福祉ひろばのサークルの方々と一緒に童謡を歌ったり、ミュージックベルのコンサートを開いていただいたりして、交流も行っています。
 - ・『子育てコンシェルジュ』が常駐しており、子育て中の不安や悩みに寄り添いながら、育児の応援をしています。育児相談のほか、必要に応じて各種サービスや施設の紹介などの情報提供を行っています。
- こどもプラザは遊びながら交流や情報交換できる場です。子育てを応援していますので気軽に遊びに来てください。お待ちしております。

利用者さんの声

入園前に社会性が学べる。先生たちが優しく温かい。話をしたり相談できたりしていい。（1歳9か月児のママ）

子育てコンシェルジュに入園や一時預かりなどの情報を教えてもらうことができよかった。子どもが楽しそうに遊ぶ姿を見ることができて、母も嬉しい。（1歳6か月児のママ）

家におもちゃがたくさんあり、いろいろな遊びができる。いろいろな行事に参加できて子どもも楽しそうだし、母のリフレッシュにもなる。

転勤で来たので友達がいなかったがプラザで母も子にも友達ができた。（2歳6か月児と4か月児のママ）

やってみよう「健康マーじゃん」横田第五町会 Y

リーチ・ロン・エーウソ・」毎月第三土曜日は横田公民館の一日開放の日。午後からは健康マーじゃんタイムです。麻雀が始まって熱気がこもると冒頭の麻雀言葉が飛び交います。健康マーじゃんは、ご存じのとうりお金はかけず、タバコは吸わず、そして相手を威圧する言葉を発しないが基本ルールです。でもマーじゃんのルールを楽しめば、頭で考え、指先を使い、そして仲間をリスペクトします。現在ここ横田地区も少子高齢化が進み、一人住まいのお年寄り



が増えています。考えながら指先を使う事で、楽しみながら脳軟化を防止すると言われていています。夕方四時までの三時間程の時間ですがお茶を飲み、お菓子を食べながらの麻雀タイムはアットという間に過ぎて行きます。麻雀牌を持ちながらの会話も今度はあっちが、痛くなった、病院はあそこが良いよで盛り上がり、順番を間違えるのも度々。これも健康マーじゃんの良いところでしょう。でも燃える時は皆さん会話も無くなり、卓に集中しています。現在横田公民館には、麻雀台は三卓用意できますが、最近メンバーも固定化して使用しているのは一卓のみ（人数が余る時はローテーションを組みます）。興味関心がある方は是非公民館に顔を出してみませんか？（健康マーじゃん予定日は毎月第三土曜日ですが、公民館のかわら版で確認して下さい。）点数が数えられなくても、役が判らなくても初心者の方大歓迎、男女、年齢問いません。現在あらゆるところで、健康マーじゃんが流行っております。手ぶらで大丈夫です。横田公民館で皆様をお待ちしております。

教養部部長を務めて

横田第三町会 教養部長

昨年度に引き続き今年度も教養部部長を務めさせていただきました。教養部として担当したのは毎年11月に行われる文化祭で私は2022年に横田へ引っ越してきており地区行事には参加したことはなかったため、どのような雰囲気なのかもわからない状態でのスタートでした。準備を進める中で展示品が集められてくると様々な創作物があり、本当に地域の皆さんに支えられているのだと感じたのを覚えています。当日も大勢の方々に見に来ていただき、私のおぼつかない司会進行にもしっかりと耳を傾けてもらいスムーズに文化祭を進めることができました。また演奏や講演会など普段見たり聞いたりすることのない催しもあり、ご来場して下さった皆さんには文化祭ならではの楽しみをしていただけないでしょうか。年々展示数も参加者も少なくなってきており開催が危ぶまれていましたが、教養部をはじめ公民館関係者、そして地域の皆さんのご協力により無事終えることができました。来年度以降どのような形になるかはわかりません。一概に辞めてしまうのは簡単ですが、これまでやってきた歴史もあり、担当者の負担にならない範囲でこの先も文化祭を続けていければと思います。今後も文化祭開催時には地域の皆さまにご協力いただくとしますので展示品等々よろしくお願ひします。ふる里祭りのように子供たちがもっと楽しく関われる文化祭になれば横田の活気に繋がってくるのではと考えます。最後にこの場を借りて携わっていただいた方々に感謝申し上げます。地域の活動に関われたことだけでもいい経験となりました。ありがとうございました。



近くで出来るグランドゴルフ

横田第五町会 I

グランドゴルフを競技するにはかなりの広場がないと出来ません。横田には近くに横田運動広場があります。広場は横田池として弁天様の湧水を利用して安政3年(1859年今から166年前)2年間の工事で面積1町2反余りの用水として横田池が完成し稲作や農業用水として発展に貢献してきました。昭和56年廃池として現在は埋め立て後、市の公共用地として横田運動広場として使用されています。今、横田公民館活動事業の中でグランドゴルフは欠かせない人気のある競技です。役員の皆様の計画により、朝8時グランド内に用具とポール立、9時参加者集合、開会式、参加者は今日の景品に注目し、役員の笛の合図で競技開始し1回8ホールで2回まわる得点が少ない方が優勝します。競技中グランド内には(ナイスショット、あらまー、おいしい、ホールインワン)いろいろの会話がグランド内に響きわたります。前半戦が終わると飲み物と飴がまっています。他人のスコアが気になるようですね。競技が終わり閉会式、役員から優勝者、2位、3位の発表があり景品を受け取り、まだブービー賞がある、役員からブービー賞の発表があり、当たった方のほほえましい笑顔がたまらない。景品を受け取り、次回も頑張ってお参りますと言って広場を後にしました。



リーズナブルでサステナブルな公民館活動を！

横田第三町会 副館長

私昨年度から横田公民館の一公民館長として公民館活動を行っています。関東出身、高卒で田舎を離れ、その後37年間公の禄を食み（内30年在外勤務）、楽しい第二の人生を夢見て、ここ松本を終の棲家と移住しました。すぐに複数の団体に加入し、ささやかなバイトをして生活を楽しんでおりました。その頃は公民館活動について全く知りませんでした。そんな折、町会幹部複数が自宅に来て、公民館長を引受けてくれないかと“懇願”され、断ったのですが、次に来られた際、他に人がいないのでと“哀願”され、断れない状況に陥ってしまい、2年だけだからとの甘言に、已むなくそれじゃあと、“落とされ”てしまいました。ご存知の通り、公民館長は住民の町会費負担・諸事付託の下、公民館の活動を企画、運営します。会計は年間の予算・決算の編成はもちろん、日常の収支管理、使用料の算出・集金などをしなければなりません。しかし、公民館使用簿の記入が不十分だったり、集金に伺おうとしても連絡がつかない等々も少なくなく、貴重な時間を浪費しています。これまで会計事務の経験なく、年度末の会計審査や監査が近づいてきても数字が合わないと胃が痛くなり、夜中に起きだしてパソコンと取り組んだりして処理してきました。老後の生活を楽しく！との思いが、予想外の苦しみに変わり、自分の選択を悔いています。2年の年季が漸く終わろうとしている今、また次期もお願いしたいと“足抜け”はできない世界ようです。核家族化、少子化の流れの中、公民館活動で地域や世代間の連帯を図ると共に相互扶助するとの精神は勿論素晴らしいですが、社会の変化に合わせて、内容や方法を変えていく必要があるでしょう。このような半公的活動を一部住民の“善意”の負担に依って行わしめたままでいいのか？ また、市が推奨し、その活動に組み込まれている公民館活動が“任意”という名の下に携わざるを得ない市民の自由を制限していいのか？大役を担う住民が若干の喜びを感じ、意欲を持って取組める合理的で持続可能な公民館活動を再考すべき時にあると思います。

館
の
お
知
ら
せ

一年間を振り返るとコロナ感染・インフルエンザ感染が継続している中で一年間無事に活動が出来たことにほっとしています。横田公民館設備で、倉庫の鍵の開け閉めがスムーズでない事、講堂入り口扉の締まりが悪いなど、細かい不具合もありました。軽微な不具合なので、油の注入や扉の止ネジの増し締めで良くなりました。公民館では、公民館設備の空調機及び暖房器具の更新を検討しています。部品がなく修理が不可なので故障しない内にできればと思っています。
記 … 公民館主事 …

4月の公民館活動 注)19日の健康麻雀と卓球が入れ替わり時間が変わりました。

4日（金）・11日（金）卓球の会 午後1時から

18日（金）公民館専門部会 午後7時から

19日（土）公民館一日開放の日 健康麻雀 午前9時から 卓球の会 午後1時から

23日（水）ふれあい健康教室 歌う会 午前10時から 卓球の会 午後1時から

27日（日）横田公民館定期総会 午後1時30分から

公民館だよりを松本市ホームページに掲載の為、個人情報実名は中止しました。